せせらぎ

医療法人社団 北腎会 広報誌

Hokkaido
Sapporo/Chitose

Vol.5
2017年4月発行

春

患者さんや地域の医療機関から選ばれる専門病院を目指して

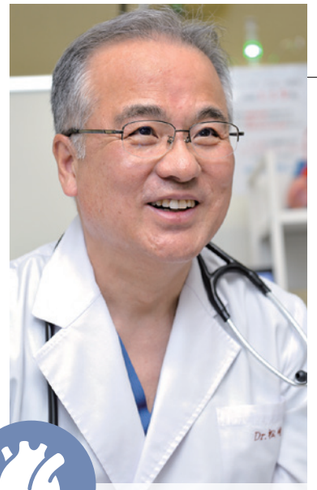
透析患者の QOL向上を目指して

透析患者の QOL向上を目指して

慢性腎不全が進行すると、透析治療が必要になります。透析治療を選択した場合、「週３回・１回４～５時間の透析」が一生続きますが、透析技術の進歩により、QOL（生活の質）を維持・向上させながら社会生活を続けることが可能になっています。坂泌尿器科病院では、質の高い透析治療を行うとともに、合併症を可能な限り予防する体制を整えています。

透析患者さんの死亡原因は 3人に1人が心不全・心筋梗塞

２人の医師が一人一人の状態を踏まえて全身管理しています



心臓外科医

坂泌尿器科病院
副院長 **松崎 智哉**

札幌医科大学医学部卒業。同附属病院胸部外科学講座入局。ピッツバーグ大学移植外科、札幌中央病院を経て平成12年から坂泌尿器科病院副院長。麻酔科標榜医。日本医師会認定産業医。日本胸部外科学会認定医。

透析室長 **小関 達郎**

帝京大学医学部卒業。同附属病院泌尿器科入局。あすかホームケアクリニック勤務を経て、平成25年から坂泌尿器科病院勤務。４月より透析室長。麻酔科標榜医。日本泌尿器科学会専門医。がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了。

泌尿器科医

坂泌尿器科病院 透析室

透析ベッド	30床
透析機	オンラインHDF 15台、多用途 14台、個人用 2台
スタッフ数	常勤医 2人、看護師 10人、臨床工学技士 11人 ※臨床検査技師、管理栄養士が必要に応じて介入

心血管疾患が透析患者の命を脅かさないように

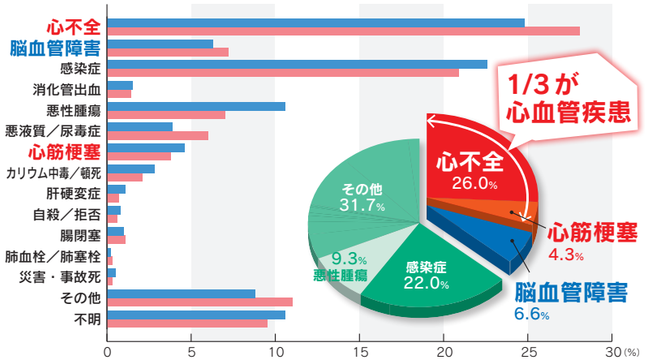
透析治療を受けている患者の死亡原因の約3分の1が心不全や心筋梗塞などの心血管疾患です。

透析治療には非生理的に血液を抜き、浄化して戻すといった循環器的ストレスがかかることから、心血管系疾患のリスクが伴います。特に糖尿病や高血圧・高脂血症がある人は動脈硬化などの血管病変が進んでいることが多く、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患や脳出血や脳梗塞などの脳血管障害を発症し寿命を短くしてしまう傾向があります。

透析患者の心臓や血管を守ることがQOLの向上につながるため、当院では「心血管系疾患の早期発見に重点を置いたチーム医療」で患者さんをサポートしています。

透析患者の死亡原因分類（平成28年）

■男性 ■女性



※日本透析医学会「図説 わが国の慢性透析療法の現況2015年12月31日現在」から作成
※患者調査による集計

当院では自覚症状がなくても透析患者さんの心血管機能をチェック

【血液透析治療前】 体重測定

【血液透析治療中】
問診・聴診・触診／血圧モニタリング／医師回診

【定期的に、または必要に応じて】
心電図／胸部X線／心エコー／シャントエコー

●心臓の検査で異常が見つかったら
➡管理栄養士による食事指導を含めた生活習慣改善の強化
➡薬による厳格な治療（血圧・血糖・脂質目標値の達成）

●症状に合わせて
➡連携先の専門病院で精密検査や専門治療

ガイドラインの目標値を上回る透析量を維持

透析治療で、血液から尿毒素などの小分子量の老廃物がどのくらい除去されたかを示す指標に、標準化透析量Kt／Vというものがあります。Kt／Vの値が高いほど透析効率が高いということになり、死亡率が下がるとされています。日本透析医学会「維持血液透析ガイドライン」（平成25年発行）では、目標値は1・4以上、最低値は1・2を推奨しています。

坂泌尿器科病院では、平成26年度の全透析患者の平均Kt／Vが約1・55と目標値を超えています。

日本透析医学会が推奨する透析量（Kt/V sp）

坂泌尿器科病院の患者さんの平均Kt/V
目標値を上回る **1.55 ± 0.09**
平成26年4月1日～平成27年3月31日

透析患者の合併症の早期発見に重点を置いた

チーム医療

医師主導で専門性の高いチーム力を発揮。情報共有によって効率的で効果的な治療を提供し、「透析と共に生きる患者さんの人生」を支えています。

患者のQOLを向上させて人生を充実させるために

チームの職種は、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、管理栄養士です。医師は週3回のすべての透析時に回診を行い、看護師と臨床工学技士が必ず滞同しています。また、回診時以外も看護師と臨床工学技士は2人一組となって透析中の患者を観察し、体調の変化や合併症の早期発見に努めます。臨床検査技師は毎月1回の心電図、年1回以上の心エコーなどの客観的データの収集を行っています。管理栄養士は必要に応じてベッドサイドで栄養指導を行います。

チームの各メンバーはそれぞれの立場から、透析患者から日常生活上での変化や訴えなどの主観的データを聞き取るなど、患者とできるだけ多くの関わりを持つことを重要視しています。患者の背景に家庭での心配事や経済的な問題が存在している場合は、これらを踏まえたアプローチでサポートしています。各職種が、透析治療の目的を「患者さんのQOLを向上させて、人生を充実させること」に定め、築くように心がけています。

全スタッフが心電図や心エコーを読める透析治療体制

透析室スタッフの誰もが、病態や治療について正しく理解し、透析患者や家族に分かりやすく説明できるよう、回診時の医師の説明は全て記録し共有しています。臨床検査技師が取った心電図や心エコーを臨床工学技士や看護師が正しく読めるように学び、視野を広げ、必要な情報や知識を得ています。

透析治療に必要な知識や技術が有効に発揮できる当院のチーム体制が、透析患者の全身管理のレベルを上げ、心臓や血管の異常を予兆の段階でつかみ取ることを可能にしています。

より専門的な心臓の治療は専門病院へ、脳の専門検査は当法人下の脳神経・放射線科クリニックと連携し、予後を改善させています。

合併症を進行させないための取り組み

- 一人一人に適した透析治療を選択し安全に実施する
- 訴えの少ない場合も容態変化に真っ先に気付き対応する
- 病態や体調の変化を予測し、合併症の前兆をつかみ取る
- 食事療法や運動療法、体重管理をサポートする
- 心臓や血管の状態を定期的に検査する
- 身近な相談役になれるよう、信頼関係を築く
- 日常生活や家庭環境、社会的・経済的問題を把握する
- 病態や治療についてスタッフの誰もが分かりやすく説明できる

スキルアップ

臨床検査技師がシャントエコーの取り方や読み方を臨床工学技士に指導

不可能を可能にする透析看護を目指しています

患者さんとの信頼関係は、プロとしてベストを尽くした結果として得られるものと考えています。透析治療ケアの知識と技術を学ばないのは患者さんに対して失礼なこととスタッフに指導し、「コントロール不可能」と思われる症例を可能にする看護を日々目指しています。

透析室師長 荒 由美子

医師

2人の医師がチーム医療を牽引し指導・教育も担当

心臓外科医と泌尿器科医が透析治療のチーム医療の中心的役割を担い、透析中の患者の回診や透析条件の指示、薬の処方、シャント造設手術などを行っています。患者の生活習慣や全身管理・合併症対応などの把握は医師だけでは困難なことから、透析室スタッフのスキルを高めるための指導や教育を直接行い、チーム力を向上させています。

看護師

専門以外にも視野を広げ病態を把握

透析装置の点検や洗浄・消毒、透析液の清浄化を行い、高い透析効率を維持するだけでなく、心電図や心エコーの知識・手技を学び、視野を広げながら透析治療に関わっています。透析患者の病態や背景を把握し、透析が安全に行われるよう観察し、患者の様子や体調の変化から合併症の前兆をつかみ、適切に対応します。

臨床工学技士

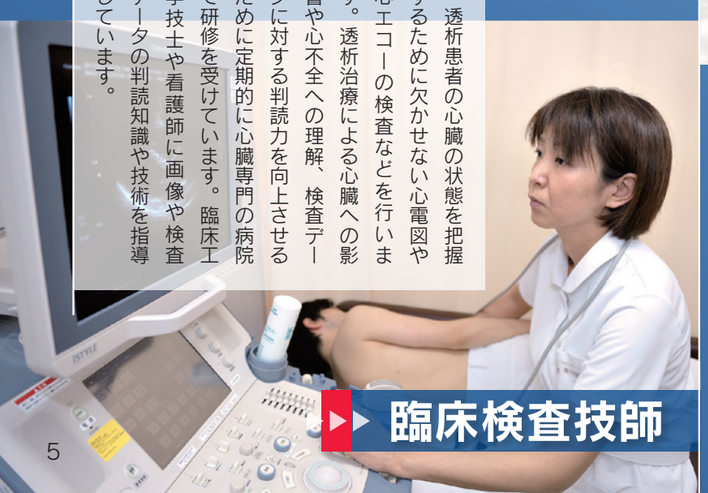
やりがいは看護によるQOLの向上

透析治療中は心身ともにリラックスできるように患者と関わります。透析を始める前にはシャントが狭窄していないか、感染を起こしていないかを観察し、バイタルサインや体調の変化を把握し、合併症の兆候をいち早くつかみ、適切に対応します。

管理栄養士

コントロールできるまで何度でも栄養指導を

透析患者は食塩・カリウム・リンの摂取量を減らし、タンパク質や水分は適量厳守なため、食事制限やバランスの良い食事の必要性を指導します。体重が増加したり、検査結果が思わしくない場合はベッドサイドへ出向いて相談に応じるなど、食事療法を継続的にサポートします。



臨床検査技師

心臓の状態を客観的データで定期的にチェック

透析患者の心臓の状態を把握するために欠かせない心電図や心エコーの検査などを行います。透析治療による心臓への影響や心不全への理解、検査データに対する判読力を向上させるために定期的に心臓専門の病院で研修を受けています。臨床工学技士や看護師に画像や検査データの判読知識や技術を指導しています。

質の高い透析治療を実現するためのハードウェア

安全で安心できる透析システムを導入

生命予後の改善に寄与するオンラインHDF療法

これまでオンラインHDF療法の保険適用は、透析アミロイドーシスと透析困難症のみに定められていましたが、平成24年の診療報酬改定で適応疾患の枠がなくなり、全ての透析患者に実施できるようになりました。若年透析患者の心血管系の合併症予防や治療困難だった皮膚掻痒症へ改善効果が報告され、生命予後の改善に寄与する可能性が期待されています。

透析液の厳しい水質管理や専用の装置が必要なため医療機関への浸透はあまり進んでいませんが、当院では平成24年に15台を導入しています。

透析に関する各種情報の統一管理と業務効率化を実現

坂泌尿器科病院 *透析システム*

透析通信システム Future Net Web+
透析記録を管理（電子カルテ化）

給水
逆浸透精製水製造システム MIE

個人用多用途透析用監視装置 DBB®-100NX 2台 処方透析
個々人の病態に合わせた処方透析が可能。透析中の血圧低下による透析困難症例に対しては循環動態の安定化を図るために無酢酸透析液を使用し、二次性副甲状腺機能亢進症で副甲状腺摘出術を受けている場合には通常よりもカルシウム濃度の高い透析液を使用した透析治療などが行える

全自動溶解装置 DAD® 50NX

多人数用透析液供給装置 DAB®-NX

多用途透析用監視装置
- DCS®-27 14台 透析 or ろ過
- DCS®-100NX 最新機種 13台 透析＋ろ過
- DCG®-03 最新機種 2台 透析＋ろ過

- HD療法、HF療法が行える
- オンラインHDF療法が行える

「オンラインHDF療法」は、HD療法とHF療法を同時に行います。従来の方法では除去することが困難だった大きな老廃物も除去することができます。

短期的な臨床効果
- 皮膚掻痒症
- 皮膚乾燥症
- 食欲不振
- イライラ感
- 不眠
- 末梢神経障害
- レストレスレッグス症候群
- エリスロポエチン不応性腎性貧血
- 尿毒症性心膜炎
- 多臓器不全

…など

期待される長期臨床効果
- 栄養指標の改善
- 動脈硬化進行の制御
- 透析アミロイドーシスの進行抑制・発症の遅延
- 免疫機能改善に伴う感染症罹患率の低下
- 尿毒症性心筋症の抑制…など

報告

第22回 バスキュラーアクセスインターベンション治療（VAIVT）研究会に参加して

坂泌尿器科病院 臨床工学技士科 臨床工学技士 楢山 佳祐

研究会に参加した小関達郎医師と楢山佳祐技士

「バスキュラーアクセス」は透析治療を受ける患者さんの腕の血管に造設した血液の取り出し口「シャント」の国際的な呼び名です。シャント周辺の血管は狭窄や閉塞といった血管のトラブルが起こりやすいことから、適正に状態を評価し治療介入する必要があります。近年は血管内治療の介入が進んでおり、その総称が、バスキュラーアクセスインターベンション治療（VA-VT：Vascular Access Intervention Therapy）です。

平成29年3月4日に東京で開催された研究会では、全国各地から集まった透析治療に携わる医師や臨床工学技士などが症例やデバイスの使用方法・手術手技について報告し、その効果をワークショップで議論しました。

新しい治療への試みや技術の発展を加速させるためには、情報の共有・エビデンスの蓄積が必要です。今後は坂泌尿器科病院でもVA-VT症例の治療効果を評価し、学会や研究会などでの報告を積極的に行いたいと考えています。

新任医師紹介

泌尿器科
清水 崇（しみず たかし）

趣味はテニスと山スキーです

患者さんを中心に置いた医療を

病気だけでなく患者さんの意思や価値観などにも気を配り、「患者さんと手を取り合ったチーム医療」を心がけてきました。泌尿器腹腔鏡技術認定医の資格を持っているので、適応患者さんの手術を担当するほか、その手術手技を指導する役割も果たしたいと考えています。

プロフィール
- 平成11年 札幌医科大学医学部卒業
- 平成11年 札幌医科大学泌尿器科学講座入局
- 平成19年 京都大学附属病院
- 平成25年 NTT東日本札幌病院
- 平成27年 旭川赤十字病院
- 平成29年 坂泌尿器科病院

専門・認定資格
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
- 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医
- 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 医学博士

松崎副院長の還暦祝いにサプライズケーキ！

副院長の松崎智哉医師の還暦祝いが、平成28年春に職員食堂で行われました。

透析室スタッフが特注ケーキを用意してのサプライズ！ 趣味のゴルフと渓流釣りのイラストをあしらった特大ケーキのロウソクを一気に吹き消した後、記念写真を撮影しました。

心臓血管外科医として実績を重ねる中、坂理事長に誘われ、40代で坂泌尿器科病院へ。血液透析患者さんの全身管理を担当し、優しい笑顔と真面目な性格で患者さんとスタッフに慕われるベテラン医師です。
5月11日に還暦を迎えました。

2/28 HTB「イチオシ」に加藤医師が出演しました

HTBテレビで平日夕方に放送中の「イチオシ」内のコーナー「シニアのミカタ」に、坂泌尿器科病院の加藤祐司医師が出演。高齢者を対象とした企画で、「過活動膀胱」について解説しました。

編集後記

春になり、年度初めの慌ただしい季節となりました。そんな時、ちょっとした息抜きとして、当法人広報誌「せせらぎ5号」を読んでみてください。今回は、坂泌尿器科病院での透析治療にスポットを当てました。普段は「読みたいところだけ読む」という私ですが、全ての記事を読んでいただきたくて、透析スタッフと試行錯誤しながら作成しました。

透析医療は医師を中心としたチーム医療で成り立っています。各部署が患者さんをサポートしたいと全力で透析業務に当たり、最新透析治療設備であらゆる事態に迅速かつ適切に対応しています。多くの皆さまが当院の透析治療に関心を寄せていただけると嬉しいです。

【坂泌尿器科病院 臨床工学技士科 有澤 博明】

Information

医療法人社団 北腎会 坂泌尿器科病院

札幌市北区北30条西14丁目3-1
電話／011-709-1212
FAX／011-758-5570

理事長・院長／坂 丈敏
【診療科目】泌尿器科、循環器科、麻酔科
【専門外来】血液透析（30床）
【病床数】
一般病棟40床
（個室5床）

■診療受付時間

泌尿器科	月～金	9:00▶12:00
		13:00▶17:00
	土	9:00▶12:00
循環器科	月	13:00▶15:00

※再診は基本的に予約制です
※急患に関しては随時、受け付けいたします

■休診日
日曜・祝日・年末年始　(12/30 ～ 1/3)

駐車場　あり

公共交通機関	
JR学園都市線「新川」駅	
地下鉄「北24条」駅→中央バス[北73] 地下鉄「麻生」駅 地下鉄「琴似」駅→JRバス［琴46］	→「北29条西15丁目」停留所

医療法人社団 北腎会 脳神経・放射線科クリニック

札幌市北区北30条西14丁目2-11
（坂泌尿器科病院裏）
電話／011-709-1717
FAX／011-709-1720

院長／池田 潤
【診療科目】脳神経外科、腫瘍放射線科、放射線治療科

■診療受付時間

月～金
9:00▶12:00
13:00▶17:00

■休診日
土曜・日曜・祝日・年末年始
（12/30 ～ 1/3）

医療法人社団 北腎会 坂泌尿器科千歳クリニック

千歳市信濃2丁目1
しなのビル2F
電話／0123-40-2727
FAX／0123-40-2728

院長／山崎 清仁
【診療科目】泌尿器科

■診療受付時間

月・火・木・金	土
9:00▶12:00	9:00▶12:00
13:30▶18:00	

■休診日
水曜・日曜・祝日・お盆期間・年末年始（12/30 ～ 1/3）

駐車場　あり

公共交通機関	JR千歳線「千歳駅」 →中央バス・桜木長都線[1][2] →「東9線」停留所

地域医療連携室から医療機関の皆さまへ

当院では、よりスムーズな外来診療を受けていただくために、医療機関からの受診予約が可能です。紹介状（診療情報提供書）をあらかじめFAXしていただきますが、まずはお電話にてご相談ください。

申し込み先
地域医療連携室
（担当：田所 久美）
電話
011-709-1212（代表）
FAX
011-709-2020（直通）

医療法人社団 北腎会 Webサイト

【発行】医療法人社団 北腎会／〒001-0030 札幌市北区北30条西14丁目3-1 ☎011-709-1212 【発行責任者】事務部長 坂 俊英 【制作】有限会社 慶文社